



Merry

London Life

Apr 29 sun → May 13 sun

原宿の「笑顔」から、ロンドンの「笑顔」へ。— "Merry" がラフォーレに帰ってくる!

2000年4月、ラフォーレ原宿をハッピー笑顔で包み込んだ「Merry展」。原宿に集まる少女たちに時代へのエネルギーを見出したアートディレクター水谷季次は、自ら撮影した1000を超える彼女の写真をそこで大型ポスターにし、ラフォーレ原宿全館にわたって展示。国内はもとより海外からも大きな反響を得た。(写真と彼女の書き文字をまとめたアートブック「Merry」(ハウハウス)も出版された)そしてこの春、「Merry」がパワーアップしてラフォーレに帰ってくる。今年のイギリス「JAPAN 2001」の年。その関連企画としてロンドンの人気百貨店セルフリッジが開催する「TOKYO LIFE」は、そのメイン企画として原宿での「Merry」を披露。

これを機にロンドンと原宿を結んで、ストリートカルチャーの現在進行形を「交歓」という、かつてないアートイベントが実現する。ロンドンの「奇」はどうなっているのか。若者たちは何を考え、何を求め、何に喜びを見出しているのか。ここに、また新たなムーブメントが生まれる。

Part.1 Merry London

水谷季次は、ロンドンでも若者たちの撮影を敢行。今回はロンドンの「Merry People」が原宿のミュージアムを飾る。さらに、この展覽のために「Merry」プロジェクトに共鳴したロンドンの若手アーティスト約50組が「Merry」をテーマに作品を寄稿。その作品を大型プロジェクトを使って会場に投影する。余剰コンテンツは変化し続け、新しいアートが置き次第、映像は随時更新される。また「Merry」なメッセージをホームページにて一般募集し、世界中から届くMerry Wordを、プロジェクトで次々と紹介。携帯電話からの参加もできる。リアルタイムでロンドンの会場にメッセージを送ることもできる。会場を創造するのは、気取った建築家ユニット、クライン・ダイナム・アーキテクト。「PARK (公園)」をテーマに、グリーンを基調としたポップでハッピーな空間を作り上げ、「Merry」の世界観を遊び心とともに見事に具現化する。またBig Magazine 東京エディター・吉田広二氏も参加。時差を超え、空間を超え、ロンドンと原宿がつながる瞬間、新しいコミュニケーションアートが参加アーティスト: PAUL DAVIS, DAVID VALLADE, PETE FOWLER, MARTIN HOLTAMP, YOSHIO SHIOJIRI, ANDERS EDSTRÖM 他多数

Part.2 London Life

ファッション、アート、音楽、クラブ・シーン、ショップ。今、ロンドンのあらゆるシーンで最もウィヴィッドに活躍するクリエイター10人が、カットिंग・エッジなロンドンの現在進行形をそのまま原宿に運んでくる。時代を生みだすキープーソンたちが、自身の作品、お気に入りのファッション、愛用のグッズ、行きつけのクラブなどを惜しくもなく紹介。彼らの日常を記録したビデオも上映される。その日、原宿がロンドンに変わる。

参加クリエイター: BILLY BILLINGHAM (ファッション・デザイナー) / ALEX RICH (グラフィック・デザイナー) / CLAUDEINE SPITERI (音楽) / EMMA COOK (ファッション・デザイナー)



Apr 29 → May 13
Laforet Museum
Harejuku

Merry Project Committee

あなたのMerryなメッセージをロンドンに送ろう!

あなたにとって「Merry(しあわせ)」とは何ですか? ロンドンセルフリッジで開催される「TOKYO LIFE」では、あなたの「Merry」なメッセージを募集しています。あなたが送った言葉は、大型プロジェクトで会場に映し出されます。また抽選でアートブック「Merry London」をプレゼント! 詳しくは下記アドレスまで。

www.21merry.net www.21merry.net/

Merry-London Life
Apr.29 sun - May.13 sun
Laforet Museum Harajuku

LAFORET MUSEUM